

星屑

2009年10月号

No. 415



木星 2009年8月8日 1時25分
20cm 1200mm ToUcam II 18mm引き伸ばし

熊本県民天文台

県民天文台のWebサイト(ホームページ)が移転します

<http://www.kcao.jp/>

独自ドメインを取得！ デザインも一新しました！！

皆さんからの情報を astro@kcao.jp メールでお寄せ下さい

特定非営利活動法人
熊本県民天文台
〒951-4222
熊本県下益城郡益城町塚原2016
TEL: 0984-28-6060
FAX: 0984-28-2027

一般公開 | 団体公開 | 活動の記録 | 天体写真 | 光害改善 | 教育・普及 | NPO・会員

一般公開
☆☆☆ 1992年5月から一般公開を続けています ☆☆☆
一般公開のお知らせ
アマチュア天文家の楽しい解説で星空と宇宙をお楽しみ下さい。

公開日： 毎週、金、土、日の曜日の夜
19時から22時まで(受付付力は21時まで)
(注)曇りや雨の日はお休みです。

予約： 必要ありません。
学校や団体でご利用の際は、事前に連絡をいただけると、「電子板芝居」など特別な解説を準備できます。

料金： 無料です。
個人だけ、募金種に入れていただけると助かります。
天文台の場内左のメニュー「天文台に詳しくは」を参照してください。

天文愛好家の団体が運営しています
★ 9/20(水) NHK文化講座
「熊本の天文学」第1回
「プラズマ」はなぜあんなに熱い？
★ 9/25(金) 県立台小学校
4年1組、日長観望台音楽会
★ 9/17(土) 19:00～
フリー観望会
「大隅半島の星空を見よう！」
★ 9/9(水) NHK文化講座
「美しい天文」第1回
「地球と宇宙」

案内チラシ 案内図 案内看板

になったのです。他方ではHTMLの記述法を学んで、テキストエディターだけを使ってシコシコと手づくりしました。無事に開設できたのは、1995年の後半だったと思います。

熊本からのWebを使った情報発信の共同研究とという位置づけでした。開設当初から世界が相手、数日後には「ホームページを見た」とフラン

スからメールが来たのには驚きました。

開設当初から数年間は、英語版のページも作っていました。ハール・ボップ彗星が明るくなった1997年には、世界の各地から、「どこに見えるか？」とか「自分が住んでいる町では、何時頃どの方向に見えるか？」などの質問も寄せられ、英語で返事を書くのに忙殺されました。それでも、イタリアやイスラエル、アメリカ西部など、世界各地の人達とハール・ボップ彗星を見るという共通の目的を持って交流でき、お役に立てたのはとても楽しい体験でした。

国立天文台でさえ、まだ一般向けのWebサイトを開設していなかった時代、県民天文台の先進性はとても際だっていたようです。

その後、サイトは電応研からインターネット・マグマに移転、移転後もこれまでずっと無償でサーバーを使わせて頂きました。ご厚意に感謝！です。

カスケーディング・スタイルシート

ホームページ製作用の専用ソフトを使うようになって、従来の「テーブル」に頼ったデ

突然のお知らせですが、県民天文台のWebサイトが移転することになりました。

天文台のWebサイトの移転は、これが2度目です。大きな転機ですので、この際、独自ドメインを取得することにしました。開設以来手つかずだった、ページの記述法やデザイン面でも大きく刷新することにし、今その作業に取りかかっています。

日本で最初の天文サイト

私たちが日本で最初の「天文関係サイト」を開設したのは、1994年にシューメーカー・レビー彗星の木星衝突が起こったからでした。輸入したばかりの冷却CCDカメラを使って、木星の縁にキノコ雲が立ち上った様子を撮影することに成功。翌年の春に彗星会議で発表したら、その画像を公開するよう、国立天文台の渡部潤一さんから促された事が発端でしたね。

あちこち駆け回ってサイトを開設できるよう交渉し、テクノポリス財団「電子応用機械技術研究所」のサーバーを無償で借用できること

ザインの仕方には限界も多く、メンテナンスも大変でした。そこで、今回はカスケーディング・スタイルシート (CSS) という、最近のHTMLの記述法に移行することにしたわけです。

そう決めはしたものの、何しろ急に降って湧いた作業。古い頭で新しい文法を使うのは至難の業。すぐには理解できなくて四苦八苦。試行錯誤が続き、夜も眠れず……。数日間は胃の調子が悪くなってしまっただけでした。

でも、何とか基本のデザインが出来上がり、移転・再構築の作業が始まっています。県民天文台のWebサイトに蓄積された、数百メガバイト分の情報を、新しい記述法で再構成す

るのは大変な作業になりそうです。まずは大枠だけを立ち上げ、細部の作業は、これから少しずつ進めていきます。

ご意見、ご感想を！

この作業、ただひたすらパソコン画面に向かって、1人で黙々と続けるのは至難の業です。できれば、気軽に意見や感想やアイデアを言い交わせる仲間が欲しいもの。再構築が進む県民天文台の新しいサイトを、皆さんもぜひご覧頂いて、感想やご意見を頂けると助かります。

7/22 の「日食」について 観察法などを解説 マスコミで、多数報道されました ハワイ・メキシコ皆既日食の映像が活躍、日食メガネの配布も

日食報道、すごかったですね！

今回の日食、マスコミ各社からたくさんの取材を受けました。RKKテレビで放映され、熊本日日新聞、くまにちキャラット、くまにちスパイス、朝日新聞など各紙に掲載されました。安全な観察法の解説だけでなく、日食観察自由研究入門とでも呼べるほど、充実した内容が好評でした。おかげで (?)、連日、問い合わせの電話が天文台にかかり続け、対応に追われました。こんなマスコミの報道が功を奏したからでしょうか、7月に入ってから「日食メガネが手に入らない!」「どこで入手できるか!」という声が多かったです。

日食メガネ、自作して配布しました

木漏れ日観察版の製作法を記載したチラシを配布したり、ピンホール式太陽望遠鏡の実機も見てもらい、作り方の指導もくり返し行いました。でも、「やっぱり自分の目で見たい!」という声には勝てません。観測用に使ったソーラーフィルターの残りを川端さんから頂いて、数十個の日食メガネを手作りし、日食観察説明会に参加された方々にプレゼントしました。

6月中は、まだそれほどの盛り上がりではなかったようですが、7月に入ると一気に熱気を帯びてきて電話が鳴り続け、観測ツアーに出発する直前まで、対応に追われるほどでした。

見えて良かった！

熊本では、当日は曇り空。でも、運良く食が最大の頃には、ちょうど雲の切れ目に入ったのだそうです。配布した日食メガネが大活躍! 観測ツアーから帰ったら、たくさんの「お礼の声」が待っていました! 細くなった太陽が見えた方々、良かったですよね!! きっと、いつまでも忘れない、大切な思い出になりますよ!!

7/16 YMCA学院高等学校の「星空への招待」

日食観察の解説と 星空の観察

例年よりも生徒さんの数が増えていたのが印象的でした



高校生向けの「星空体験」と「天文学」の講座です。ここ数年、「定番」になっています。でも、今年の特徴は、例年よりも参加者が多かったことです。

毎年、参加した「高校生」と、じっくりコミュニケーションしながら、星空と宇宙の解説をしてきました。今年は、日食の解説が加わり、またひと味違った「星空への招待」になったと思います。

7/25 県文化企画課主催 フィールドミュージアムへ飛び出そう！

「星の観察 自由研究入門」

雨にもかかわらず、43名が参加、皆既日食の観測報告も！



益城中央小4年生
「星の観察会」も
同時開催！！

雨でもこの参加者数なのですから、もし晴れていたら、優に150名に達していたでしょうね。こんなにまで楽しみにして参加して下さるので、お迎えする側も準備にはつい力が入ります。各地へ出かけて観測してきた皆既日食の映像や画像、それに、熊本に残って観測した画像などをまとめ、「報告」を制作しました。

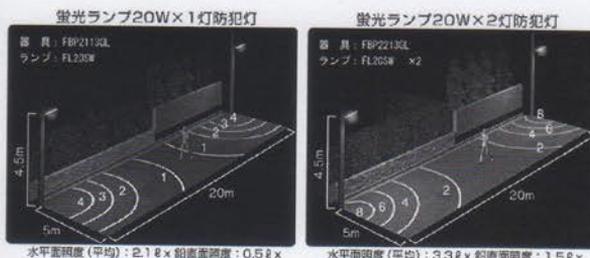
まずは、熊本での日食の進行状況や、各地での見え方、皆既帯がどこを通過していたかなど、基本的な情報をおさらい。次に、ピンホール式太陽望遠鏡を使った熊本での観察事例を発表。それから、喜界島で撮影したコロナのハイビジョン映像や日食観測風景を見て頂きました。続いて、中国での観測の様子も紹介しました。

皆既の映像は好評でしたが、参加者が一番驚いたのは、西嶋さんが作ったピンホール式太陽望遠鏡とそれで撮った太陽画像だったかも。



7/17 と 8/7 LED光源を採用したLEDioc 新型防犯灯 デモ機(2基)の寄贈を受けました

うち1基は、合志市での光害改善のために使用します



光源は3個の高輝度LED、3方向に光束をうまく配分しているのので、上方光束はとて少なく抑えられ、道路に沿って

広い範囲を明るく照らすことができる防犯灯です。LEDを採用したので、光源の寿命が約40,000時間と長く、10年くらいはメンテナンスフリーで使えそうです。

この最新型防犯灯を、岩崎電気さんから、2基寄贈して頂きました。1基はデモ機として使用します。もう1基は、合志市の新興住宅地での光害改善の為に提供致します。

8/8 府領地区公民館活動での「星の観察会」は 星の観察と光害の学習 でした

光害改善を目指す合志市の斉場さんも参加され、新型防犯灯の贈呈式を行いました



ナイトハイクで天文台にやってきて、星の観察を楽しんでから、お迎えの車に乗って帰るというユニークな企画。甲佐町の府領地区の方々にとっては、ここ数年定番の行事になっています。

この日は、まず日食観測の記録を見て頂いて、それから、光害とその対策について説明。城南町型の防犯灯や、新型のLEDioc防犯灯も紹介。さらに、合志市で最近発生した、ある光害の実例と、その改善に向けた取り組みを紹介しました。防犯灯の贈呈式では、大きな拍手が起こって、企画した私もちょっと感激でした!



合志市の斉場さんに LEDioc Street 1基を贈呈

光害の改善に共に取り組みます

自宅前の道路、その向かい側にある電柱に、開放型の防犯灯が取り付けられて、ある日突然星空が見えなくなってしまった・・・斉場さんは、そこから「光害」について行動を始めました。

<http://www.cyber-train.net/bouhan/index.html>

8/17(月) IOBスポーツ推進事業団のキャンプで ロケット打ち上げと「星の観察会」

知的障害者と健常者とが一緒に、星空や宇宙を楽しみました！

美里町にある廃校利用の宿泊研修施設「元気の森 かじか」で開催されるこのイベント、午前中はプールでの水泳、午後からは近くの川で思いっきり水遊びして、夕食後は、星を見たり、星や宇宙の話題がいっぱいの電子紙芝居を楽しんだりしています。もう5・6年くらい続いているでしょう。毎回、知的障害者の方も大勢参加されているのが特徴です。

夜の部の講師役を務める私は、いつも夕食から参加。みんなと一緒に夕食を頂きます。参加者に声をかけ、反応を確かめては、夜のイベントをどんなふう展開するか、最終的な判断をしています。今年のお天気は、曇りですが時々晴れ間が通過するという感じ、雨が降る心配はありませんでした。

そこで、夕食後、まだ明るさが残るうちにモデルロケットの打ち上げを行いました。始めるときに一工夫して「ロケット回収隊員」を募集。1人づつモデルロケットに触ってもらい「強く握りしめたら壊れる」ことを理解してもらいました。これは大成功！おかげでスムーズに行きました。

後は、お天気に合わせてながら、電子紙芝居を上演したり、望遠鏡で星の観察を行ったり。何とか、夏の大三角が見えて、21時過ぎまで、皆さん楽しんで下さったようです。

8/23(日) 夏の「大三角」を観察

甲佐町白旗小学校4年生の「星の観察会」

☆☆☆ 50名の参加者で賑やかでした!! ☆☆☆



夏休みに、「夏の「大三角」星」の観察を体験し、できたら「星の動き」についてもじっくり理解してもらおうというイベント、PTAの主催です。

天文台の玄関前に解説場を設営、2階の観測室では望遠鏡を使って木星などを観察して頂きました。星座早見の使い方を解説し、南の空を向いてもらうと、全

皆既日食特集第2弾！

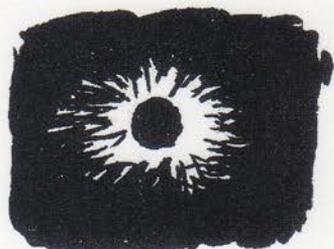
高田さん、上塚さんから原稿を頂きました。今回は中国・上海付近の特集です。それぞれ貴重な経験をされていますが、共通することは「前回の日食は独身」「今回の日食は家族と一緒に」ということです。特にどちらも子どもを連れての旅行ということで、なかなか独身時代とは違った大変さがあったようです。

鹿児島県喜界島で撮影した皆既日食

撮影 小林寿郎さん



たか た のせ ちゅうごく 高田が覗いた中国



残念無念、皆既日食は見れなかった・・・が！

高田家一族郎党、5名の大所帯、質量にして300Kg弱（荷物含む）が参加した、中国・嘉興（かこう）での皆既日食は、先月号の星屑(*1)で、艶島さんが報告されていたとおり、あいにくの天気で観測できませんでした。しかし、初めての中国旅行で、熊本から海を隔てた「お隣の街」、上海（しゃんはい）と嘉興（かこう）を見聞して、堪能してきました。今回は、日食の話から離れに離れて、高田が覗いた中国の様子を伝えていきます。（*2）

何じゃーこりゃー！！ 上海の高層ビル群

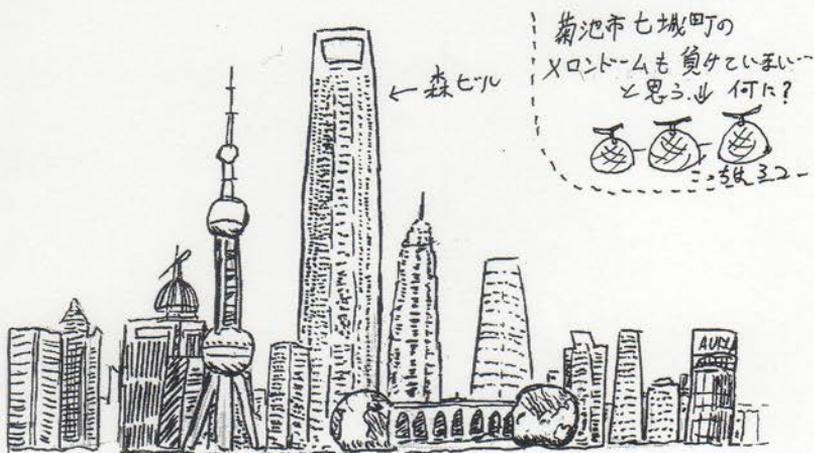
7月20日、旅行1日目。福岡国際空港からあっというまに上海の浦東空港まで飛んでしまう。もうほとんど国内線で移動する感覚である。空港で、現地ガイドの林（リン）さんと合流して貸し切りバスで上海市街地に向かう。

途中、やったらめったら工事現場が多い。それも、日本の「道路を掘りかえしています。皆様にはご迷惑をおかけしています。」といった謙虚でちゃちなものではなく、高いビルがドーン、高架道路がドーン、ジャンクションがドーンと出現しているのである。

林さんの話では、来年(2010年)の上海万博にむけての「突貫工事」がおこなわれているとのこと。予想どおりである。なんのことはない、46年前に東京でオリンピック前におこった都市の大改造が、上海でも同じようにおきているのである。「外国のお客さんがいっぱい来ますよ。恥をかかないよう、街をきれいにしましょう、便利にしましょう」と。

いよいよ、街中心部、夕暮れにかすむ市街地が近づくと、東京よりものすごい高層ビル群がみえてきた。

そして、上海の中心部は、映像では何回か見たことがある



が、形がバラバラの統一感のなく、子供が遊びでこしらえたようである。それはそれで、上海の顔として認めるとして、高さ 421mの威容をおこる森ビル（正式名称：上海ワールド・フィナンシャル・センター）は、巨大さもあるのだが、そのデザインは表情を出さない人みたく、他のビルの無邪気な顔とは隔絶していて気味悪かった。

嘉興へ 照葉樹林帯

旅行 2 日目。外国人相手の高級店にうんざりして、隣接する公園にでてきた。緑少ない上海とはいっても、さすがに公園がありそこには樹木がある。そこに植わっている樹木をみて気がついた。「クス（楠）の木だ・・・」

暑さの中、しきりに鳴くセミの声こそ違うけど、実感としては熊本市内にいる感じに変わらなかった。今回のツアーは、福井県のメンバーとも一緒に、そのうち一人が「福井では、クスはあんまり見ないですね・・・」とつぶやいて、初めて「照葉樹林帯」というキーワードを思い出した。

なんのことはない、中国と言っても、日本西南部から中国南部を経てヒマラヤ南部山麓と続く「照葉樹林帯」(*3)の中に、熊本も上海も入っていたのだ。そう思うと、上海が非常に身近に思えた。そういった意味では、熊本—上海より、熊本—福井とのほうの差がむしろ大きいのである。



となると、動植物や農作が、熊本といったいどこが同じで、どこが違うのかが気になってくる。その後、上海から観測地・嘉興へと向かう途中、バスは農村地帯を走る。目をこらして農地を見る。しかし、高速道路上からだ農地までの距離が遠くてよくわからない。

長女のトイレのため、バスが路肩に停まったのをコレ幸いと、自分も降車しついでに立ちションをしながら、養殖池とおぼしき水面上で盛んに飛んでいるツバメを見ると、素人目ながらやはり日本で目にするツバメ（スズメ目ツバメ科）であった。

しかし分からないのが、イネである。バスの中から遠目でみてイネだろうと見える植物の植え方がどうも違う。あれは本当にイネなのか？



次の朝、旅行 3 日目、午前 5 時半。昨夜からの嵐は小康状態になっているような空模様。宿泊地のホテルを出て、周囲に広がる水田に行ってみると、まさしく「イネ」であった。ただ、日本のように、等間隔に植えてあるのではなく、まったくバラバラに植わっていて、こ

れは、籾（もみ）をそのまま直播（じかまき）したもののようであった。そして、3～5mおきに、植えていない「通路」が田の長辺方向に伸びている、これは、草取りなど人が入っていくときに使用するためのものようであった。

また日本のように、用水、排水の設備はない。それもそのはずで、このあたりはほとんどというか、まったく高低差がないところなので、川の水位がそのまま、畦（あぜ）を超えて水田へ導かれたり、出て行ったりしているようである。

おもしろいのは、畑に大豆をつくっているし、田んぼの畦にも植えてある。熊本の田圃と同じである。ほかに、さつまいも、それから桑畑もあった。先に書いた、養殖池をのぞけば、熊本の平地で普通にみる（みられた）作付けであった。

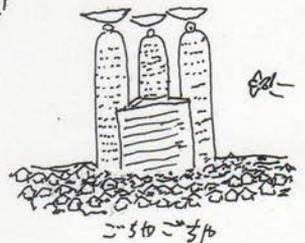
再び上海へ 壊されゆく街、残っている人々

さて皆既日食も無念に終わり、雨の中、上海に戻ってきた。

前に書いたように、上海は、来年（2010年）の万博にむけて、スクラップ&ビルドの真っ最中である。聞くところによると、土地の所有権は中国政府が持っており、住民に対して土地収用をかなり強制的にできるそうである。近代的な高層建築が立ち並ぶ中に、今まさに壊されようとする古い街並みがいたるところで見られた。ほとんど骨組みのような建物に、まだ残って生活している人もいた。行くあてがなく、仕方なく残っているものなのか・・・



高層建築と貧民街
何か見た風景と
思った。
「未来少年 コナン」に
でマきたインタストリアに
そっくり!!



上海の市場にて

上海に行く前に、同じく上海に出かけるAさんから「中国の『市場（いちば）』はおもしろいよ～、日本で見ない、いろんな食材が売ってあるよ」と聞かされていた。しかし、追加で「でも、子供を連れて行っちゃダメだよ。日本人の子供なんか、『誘拐』されちゃうことがあるらしいから・・・」

ちょっと行く気になっていた気持ちをそがれた、そんな危ないところなんか子供連れて行

上海沪陵副食品市場の中の図



と、間口の広い建物の中に入っていくと、朝6時なのに、もう買い物客でごったがえす、「市場」の中であった。

人の通路は、左右真ん中に3本。

売り場は横方向に4つ。奥行きは、あとで調べたのだが180mほどあった。

食材は、野菜、果物、水産物、香辛料、肉、麺 など、ありとあらゆるものが、大量にそして無然とならべてあって、店の人も無然と売っていた。

結局、ここの市場は2回訪れて、これは安全なところだとわかり、3回目は、子供も連れていった。子供は、あまりの匂いのひどさに、顔をうつむかせ、やっとの思いで通り抜けた。往復して戻ろうとするといやがって、遠回りしてホテルに戻ってきたのだった。

上海雑技団 国家宣伝の場

さて、艶島さんが先月号の「星屑」にも書かれていたように、自分も、超人的技巧を披露する上海雑技団を見てきました。言葉の説明が何もいらぬ、ただ見るだけで、スゴイ！！とわかるようなものばかりで、バックで流れる音楽もわかりやすいものばかりだった。

演目のトリは、鉄でできた球状の籠の中をぐるぐる回るオートバイで、自分が日本のサーカスで見たときは2台であって、その時もビックリしたものだが、ここ上海では5台！！で回っていた。5台目は、女性が運転していた。そして、最後にその女性が赤いスカーフを首から解いて、両手にかかげると（もちろん手放し運転）、目にも鮮やかな中国の国旗が！！

「外国のお客さん、中国ってこんなすごいところよ！好きになってね（ハートマーク）」と、言っているようであった。しかし、そう言っている、この時の音楽が、米帝国商業主義的映画、スターウォーズ「王座の間 エンド・タイトル」であるところが、おかしい。

けないよな～。まあ、ツアーの忙しい日程だし、そんな「市場」に行く暇なんか無いよね。それにその「市場」がどこにあるか知らないし～と、あきらめていた（←本当は行きたかったの）

ところで、時間は、旅行2日目の朝に戻る。

朝5時半、上海の街並みを見てみよう、ホテルから左回りに周辺を歩いていくと、自転車、オートバイがガチャガチャおいてある広場に出会った。お、お、なんだと、なんだ

桃1個 3元を買ったよ、1元=14円

・バスの中の会話
 オリンピックの前に何かありましたか？
 はいはい チベット暴動!!
 モイカそれはチベット...
 本当は四省大地震を言わせたかった。

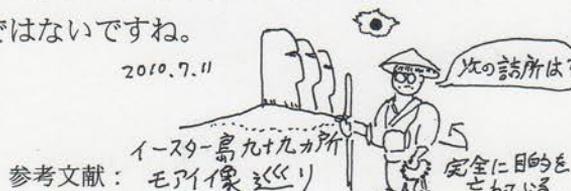
そのほか リニアモーターカー、ビール

- 上海と浦東空港を最高速度 430km/h で結ぶリニアモーターカーに乗りました。それは快適なものでしたが、白い車体の先端は、鳥がぶつかった赤い血のりが3つ付いていました。中国が世界に誇る交通機関なので、やはり拭いたほうが良いのでは？
- 中国のビールは青島が有名ですが、今回飲んだ、「雪花」(SNOW)がおいしかった。アルコール 3%しかなく、水がわりに飲める。

さて、さて次の皆既日食は？

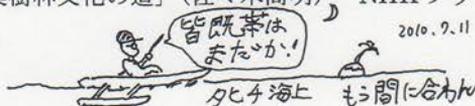
実は、嘉興での皆既時間中、一緒にいった長女(8歳)は、バスの中で下痢で苦しんでいました。苦しみながらも、見えなかったことにガッカリし、しかし「今度は、2017年の北アメリカに行くからね～」と強がりと言っていたのには、さすが我が子と思いましたネ。

一番、近いところでは、来年(2010年)7月11日のタヒチ・イースター島あたりでしょうが、なかなか簡単に出かけられるところではないですね。



参考文献: モアイ像巡り

- *1) 「星屑」No414(2009年9月号) (艶島敬昭) 熊本県民天文台
- *2) 「河童が覗いたインド」(妹尾河童) 新潮文庫
- *3) 「照葉樹林文化の道」(佐々木高明) NHKブックス



高田の荷物リスト
↓ 旅行前に重量チェックをした。

項目	重量(g)
双眼鏡観測システム	
宮内10cm双眼鏡	8,600
微動雲台	705
三脚 Verzon Z-5000	1,800
オリジナル双眼鏡架台	
地上風景撮影用(子供にさせる)	
PENTAXカメラ(マニュアル) 30mmレンズ込み	830
上用三脚	640
デジカメ 1000mm望遠撮影システム	
一眼デジタルカメラ D90(NIKON)	710
レンズ NIKKOR 18mm-70mm	440
KENKO ED50mmF8望遠レンズ(ソフトケース込み)	780
2倍テレコンバータ	350
Super Plate(2連カメラ) Velbon	565
自由雲台(VERBON PH-173G)	620
同リモコンシャッター	15
同充電器(Nikon MH-18a)	90
赤道儀(ビクセン)	5,800
同コントロールボックス、電源、工具	325
単2×6個	320
バランスウェイト	1,120
ビデオ地上風景撮影用	
ビデオカメラ(充電器含)	940
同ワイドコンバージョンレンズ	100
同テレコンバージョンレンズ	100
ビデオカメラ用三脚 HAKUBA	800
眼視用双眼鏡(家族)	
7X50 PENTAX双眼鏡	1,040
双眼鏡架台	250
三脚(SLIC)	1,200
工具	
携帯電話(祐一)	115
ラジオペンチ	105
モンキースパナ	145
ハンディテスター	105
書類	
D90取り扱い説明書	325
HANDYCAM説明書	55
皆既日食2009	350
写真ブック	100
書類入れ	365
ACアダプタ(220V変換)	305
財布	220
小物	
iPOD	25
赤手袋	50
KCAOタイピン	25
名刺	70
遊び道具	
オカリナ	250
ブーメラン	50
スケッチブック(大)	310
スケッチブック(小)	90
収納	
トランク	7,200
ザック(NorthFace)	1,050
重さ集計	
総重量(g)	39,450

上海 豫園戲苑は曇り一時雨！

次はどこに観に行こうか？

上塚達朗 美宙
操 宇晴

中国・上海 豫園戲苑は皆既中は小雨模様。この日を4年間待ち続けていた。骨髓移植をしたとき、2009年の日食は家族みんなで見に行こうと妻と約束した。みんなで観に行く約束は果たしたが、皆既食を家族に見せられなかったのが、次回まで元気でいることにしよう。勿論、当分は元気だと思うが。しかも春にはもう1人家族が増える予定だし。

夏休みの皆既月食。しかも皆既帯は近場だ。この機を逃す手はない。小学1年生の美宙（みひろ）と4歳の宇晴（たかはる）の宇宙姉弟に初めてパスポートを取らせた。私たちも期限切れなので作った。子どもたちにとって初めての海外旅行。飛行機に乗るのも初めて。ホテルに連泊するのも初めてだった。美宙はお腹の中でイエローナイフのオーロラツアーに参加していたかもしれないが。

三脚が・・・

無事に出入国を済ませ、当日までのんびり過ごすことにした。日食前日のホテルで、はしゃいでいる子ども達が「これ、とれた。」となにやら持ってきた。一人が手にしているのは三脚の雲台、もう一人は雲台のない三脚。「雲台のねじがはずれただけ？」と思って取り付けようとしたらねじが殆ど見えていない。回したときにねじがセンターポール内部に引っ込んでしまったようだ。センターポールを下から覗くとプラスねじの頭が見えている。プラスドライバー1本あれば修理できそうだった。ところがそのプラスドライバーがない。かなり長い物でないと届かない。ビクトリノックスのスイスチャンプ（時計付き）は持ってきていたが、とうてい届かない。仕方がないのでフロントに電話した。「i want a long plus screw driver.」と言っても通じない。フロントの受付嬢は英語も話せないのか？それともこっちの英語がまずいのか？そこで現物を持ってフロントへ向かった。たぶんさっき電話に出た人だと思うが、もう一度尋ねた。しかし案の定、受付嬢には通じないので英語が話せるホテルウーマンが来た。話は通じたが、そんな長いドライバーはないという。じゃあこれが直せそうなどころはないかと尋ねると、Camera Shop へ行けという。道順を説明してくれるが、こっちも地理は不案内。しかしショッピングセンターにあるということで、「Near Ajisen ラーメン？」という。「Yes.」味千ラーメンがここで役に立つとは思わなかった。スターバック コーヒーの隣にあった。知った店がいっぱいある。さすが上海である？味千は熊本が元祖でそこから来たんだと教えてあげたかったがそんなことをしている暇はない。カメラ店へ向かった。家内は夕食の買い出ししか頭になかったが利害は一致したので表へ出た。

結局カメラ屋でも修理できなかった。このツアーは三脚の持ち込みは観測場所の関係

で一人1本の制限があった。家内は荷物は極力減らさせたが、私のリュックに1本。スーツケースに1本そして万が一のために息子のリュックに予備の携帯用三脚を1本忍ばせていた。それが役に立った。ビデオカメラにはリモコン三脚、デジタル一眼はその黄色いちっちゃな三脚を使うことにした。

前日までは晴天に恵まれ、太陽観察にはもってこいだった。露出を確認しようとホテルの玄関の前の階段に座っていたらお尻が熱くなった。明日は敷物があるなど思った。そしてこの暑さが明日も続いてくれることを願った。

前夜祭。 思いのほか人は多い。ざっと計算して250人。広いホールに近畿日本ツーリストのツアー参加者があちこちから集まってきているようだ。明日の天気を祈る、てるてる坊主まで登場。予報ではあまりいい天気ではないらしい。門外不出の人間国宝級だという変面の踊りも披露された。会津大学の先生の講演もあった。日食観測の気運が高まる。



当日、朝から雲はあったが、時折、太陽は見えた。豫苑に到着し、機材をセットする。機材は

1999年にトルコ日食で実績のある？DVビデオカメラ

○SONY DCR-TRV900 に TELE CONVERSION LENS ×2.0
今回の日食のために購入した

○PENTAX K-7レンズキット

ついている標準ズームレンズは

○SMC PENTAX DA 18-55mm f3.5-5.6 AL WR

簡易防滴構造で防塵・防滴構造のボデーと併せて小雨などもシャットアウト。実質的なレンズの値段も1万円程度で手頃

望遠レンズは荷物を減らすために

○SMC PENTAX F4.7-5.6 80-200mmに

○Kenkoの 2× テレプラスで
400mm相当に

皆既中の太陽を入れた風景写真のために

○SIGMA 15mm フィッシュアイ
フィルター

Kodak N. D. 4.00 Wratten
gelatin Filter 75mm×75mm

Oasis D4 FILTER PRO 52mm

Kenko MCND-400 52mm

Kenko PRO ND8 67mm

Kenko PRO ND8 52mm

Kenko PRO ND4 52mm

複数の濃度の違うフィルターを持っていったのが幸いした。雲があったため、D4だけでは濃すぎた。露出倍数の低いフィルターを組み合わせる必要があった。



部分食

第1接触の時刻を過ぎた。ビデオカメラの液晶モニターに少し欠けた太陽の姿が映っている。「見てごらん。太陽が欠けてる。」子どもたちに見せる。どれだけその意味を理解しているだろうか。隣の親子は中1の男子が気温を計っている。次回はこちらの子ももう少しいろいろなことができるようになっていだろう。

次第に雲は厚くなり、とうとう太陽は見えなくなった。ひとまず観測しているベランダに接しているホールに入って休憩することにした。中にはスクリーンに世界各地の日食の様子が映し出されていた。日本の映像もある。「見えているところもあるんだな。」

と思っていると映像は中国各地に変わった。リアルタイムなのに欠け具合はいろいろで、中国は広いんだなあと改めて思った。



雨。皆既中は曇り

しばらくすると外が慌ただしくなった。雨が降り始めたのだった。急いで外に飛び出し、機材を軒下に避難させた。

第2接触の時刻が近づくとあたりは次第に暗くなり、遠く周りの建物に灯りがとも

り始めた。そして遂に真っ暗。帰国後、熊本の方がよっぽど見えたのではと言う人もい



たが、この暗さは皆既帯でないと味わえないと自分を納得させる。右上の写真はフラッシュなし、下はフラッシュ撮影。正に夜。この後ホテルに帰って昼寝をした息子は翌日になったと勘違いしてしまった。どこへ行っても美宙か宇晴のどちらかは眠っている。どこでも眠れる上塚家の血筋か。



折角、上海に来たのだから、夜はみんなで上海雑伎団鑑賞。他の国のサーカスとは違って新鮮。

結局、ダイヤモンドリングもコロナも見えなかったが、初めてゆっくり家族旅行ができた。次回こそは晴天をねらってどこに見に行こうか。



ちよつと一服

Poem & Illustration

最近、ここ城南は晴天続き。日中の暑さはまだまだですが、夜は結構涼しくなってきました。そろそろ半袖Tシャツの観望から、長そで綿シャツの観望へと変わりそうです。蚊に刺される危険も減るのかな？

日没直後には西の空低くまだ頑張っている春の大曲線ですが、天頂の夏の大三角形、東の秋の四角形と、3つの季節がいつぺんに楽しめるのもそろそろ終わり。主役は完全に秋へと移っています。

その秋の星座物語の準主役(?) お化けクジラの下を、9月11日の2時過ぎ、H2B ロケットの光が動いていくのが見えました。



秋の神話

クジラはちょっと雲をつまんで
お腹に敷いてみた

だってねえ
なんだか 見られてる気がするんだ
下のほうから

凶暴なヤツだとみんなが言うけれど
ホントはシャイで
信心深い生真面目者
なのに カミサマは残酷だ
(いや 残酷なのは ニンゲンか)

ニンゲンの夢は
オレンジの光になって
白銀の光になって
宇宙へと

うん
もう もぞもぞしなくなった

クジラは安心したように雲を払いのけた



2009年8月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 14日 / 14日 = 100% 総開台日数 17日
 一般来台者数 263名 会員来台数 41名

日付	天気	担当運営	来台数	記 事
1 日 (土)	くもり	中島	6 人	曇って誰も来なかったので帰ったところ、その後 6 人来台。山田さんも。
2 日 (日)	くもり	小林ま	0 人	8 月最初の日曜でしたがくもり。梅雨明けはあるのでしょうか？
7 日 (金)	晴れ	西嶋 小林 J 艶島	9 人	土星を見たいとのことで、輪っかが消えた土星を見ていただくことができました。その後、雲の合間を縫うようにしてスピカ、アンタレス、M4、デネブ、X-1 月、木星、M7、M22、M8 最後にはきれいに晴れ木星と月のデジカメ撮影会と化していました。
		艶島	2 人	岩崎電気 LED型防犯灯 1 基を無償で提供していただきました。合志市での光害改善用に使用します。
8 日 (土)	晴れ	中島 艶島	4 3 人	府領公民館 望遠鏡の解説、デネブ 日食解説 防犯灯の贈呈式、スペースシャトル、土星の解説 斉場さん(合志市) 入会 T a l k A b o u t 星屑発送作業 28 ページの星屑日食特集号
9 日 (日)	晴れ / くもり	艶島 小林ま	0 人	時折晴れ間がのぞくものの雲が多い メール便で星屑発送
1 2 日 (木)	曇り時 々晴れ のち雨	艶島	4 人	アンタレス、木星 ペルセウス座流星群の極大日です。19 時頃晴れ間があるので公開することにしました。24:00 過ぎには木星の衝突痕が見えるはず。期待していたらその小六もが広がってついには雨。がっかりです。立川さんが星屑を取りに来台。
1 4 日 (金)	曇り / 晴れ	西嶋 高田 小林 J	1 7 人	木星、アンタレス、アルタイル、M22、M7 とってもにぎやかなファミリーでした。はじめは雲のすき間から星が見えていたのに、あとではべた曇りになってしまいました。と思ったらお客様、そして晴れ.....

日付	天気	担当運営	来台数	記 事
1 5 日 (土)	晴れ / 曇り	中島 艶島	0 人	曇り やっぱり盆は誰も来ず！帰ります。 中学生の自由研究（ロケット）延期に！！
1 6 日 (日)	晴れ	艶島小林 J 小林 M	0 人 2 人	夜はナシ 中学生の自由研究 ロケット打ち上げ 6 基
1 7 日 (月)	くもり	艶島	5 0 人	I O B スポーツ事業団の星の観察会 美里町 「元気の森かじか」で。デネブ、アルタイル、 X 1 電子紙芝居と日食ビデオ上映
2 1 日 (金)	晴れ	西嶋小林 J 艶島 高田 高群	3 0 人	アークトゥルス、アンタレス、木星、海王星、 M 2 2、M 7、アルビレオ、WW 夏休みラストスパートで千客万来！熱心なお客 様多数。久々の晴れた夜。日没後に次々と星が 見えてくる空はなかなか感動ものでした。天の 川も久しぶりに見たような・・・
2 2 日 (土)	曇り / 晴れ	中島	1 0 人	アークトゥルス、木星 雲が多くあきらめてい たら、ベガが見えてオープン。木星が見えるま で星の話や日食の話をしながら楽しんでいまし た。木星がきれいに見えて良かった。
2 3 日 (日)	晴れ	艶島小林 M 西嶋	7 0 人	白旗小 4 年生 4 5 人 玄関前の広場にビニール シートを広げて「観望会」スタイルで対応。 ・日食観測の報告、星の観察入門、白鳥座 X - 1 解説、星空クイズ 観測室では 月、木星、アンタレス、M 2 2
2 6 日 (水)	晴れ	艶島小林 J	0 人	NHK 文化講座「楽しい天文学」5 名 久しぶりに撮影
2 8 日 (金)	曇り	西嶋	2 人	月、木星、アルビレオ 薄雲越しにやっと見えた月と木星でしたが、と っても喜んでいただきました。 (開けてすぐに初老の男性が来られ、本を寄贈 されていかれました。皆さんで読んで下さいと のことで・・・) ← UFO の人ですね？
2 9 日 (土)	曇り / 雨	中島	1 人	月 何とか月だけ見えました。でもその後雨が 降ってきました。話が盛り上がってなかなか良 かった。
3 0 日 (日)	晴れ	艶島小林ま 西嶋	1 7 人	月、木星 デジカメ持参の方が多く、月・木星を手持ち撮 影されていました。木星の写真の在庫ナシ。

日中の残暑が厳しい熊本ですが、朝夕は涼しくなってきました。熱帯夜から開放されて、ホッとしています。梅雨が長引いた事もあり、夏の季節が短いように感じているのですが、今度は連日の晴天続き。お陰で熊本は、少雨注意報まで発令。数日晴れ、時々雨という均等な天気にはならないものでしょうか。(^^;) そんな秋の空に輝く木星が、大変見頃ですよ。木星の衛星たちの「かくれんぼ」もあるので、是非天文台の大きな望遠鏡で見てみて下さい。衛星たちの追っかけっこ、結構楽しいですよ。

平成21年度の会費納入、皆様御協力宜敷御願ひ致します。

☆ 10月の天文現象 & 行事 ☆

- 2日(金) 木星の衛星ガニメデがエウロパをかくす
(23:32.1 部分食 減光量6% 継続時間7.2分)
- 3日(土) 中秋の名月
- 4日(日) 満月(15:10)
- 6日(火) 水星が西方最大離角(10:31 -0.1等 視直径07.0")
- 7日(水) 月とプレアデス星団が接近
- 8日(木) おうし座η星アルキオーネ(3.0等)の食(08:06→08:53 福岡:明縁から潜入)
寒露(かんろ…秋涼増長し、寒くなり露を結ぶ)
りゅう座Rが極大(6.9~13.2等 周期246日)
- 9日(金) ジャコビニ流星群が極大
- 10日(土) トークアバウト(天文台にて 20:00~ 変更の場合もあります)
- 11日(日) 下弦(17:56)
- 14日(水) 夜明けの東天で、土星(1.1等)と金星(-3.9等)が最接近
木星の衛星イオがエウロパをかくす
(18:55.3 部分食 減光量14% 継続時間5.6分)
木星の衛星イオの影にエウロパが入る
(20:56.1 部分・本影食 減光量33% 継続時間6.3分)
- 18日(日) 新月(14:33)
- 21日(水) 木星の衛星イオがエウロパをかくす
(21:12.7 部分食 減光量14% 継続時間5.3分)
オリオン座流星群が極大
- 23日(金) 霜降(そうこう…露は霜と化して草木の葉は黄変するという意味で霜降)
- 26日(月) 上弦(09:42)
- 30日(金) 十三夜(栗名月)

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2009年10月号 通巻415号
発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226
熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台
TEL 0964-28-6060
振替口座 01700-5-105697
NPO熊本県民天文台事務局
ホームページ <http://astro.magma.ad.jp/>
メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige@kcaohige.com 中島まで